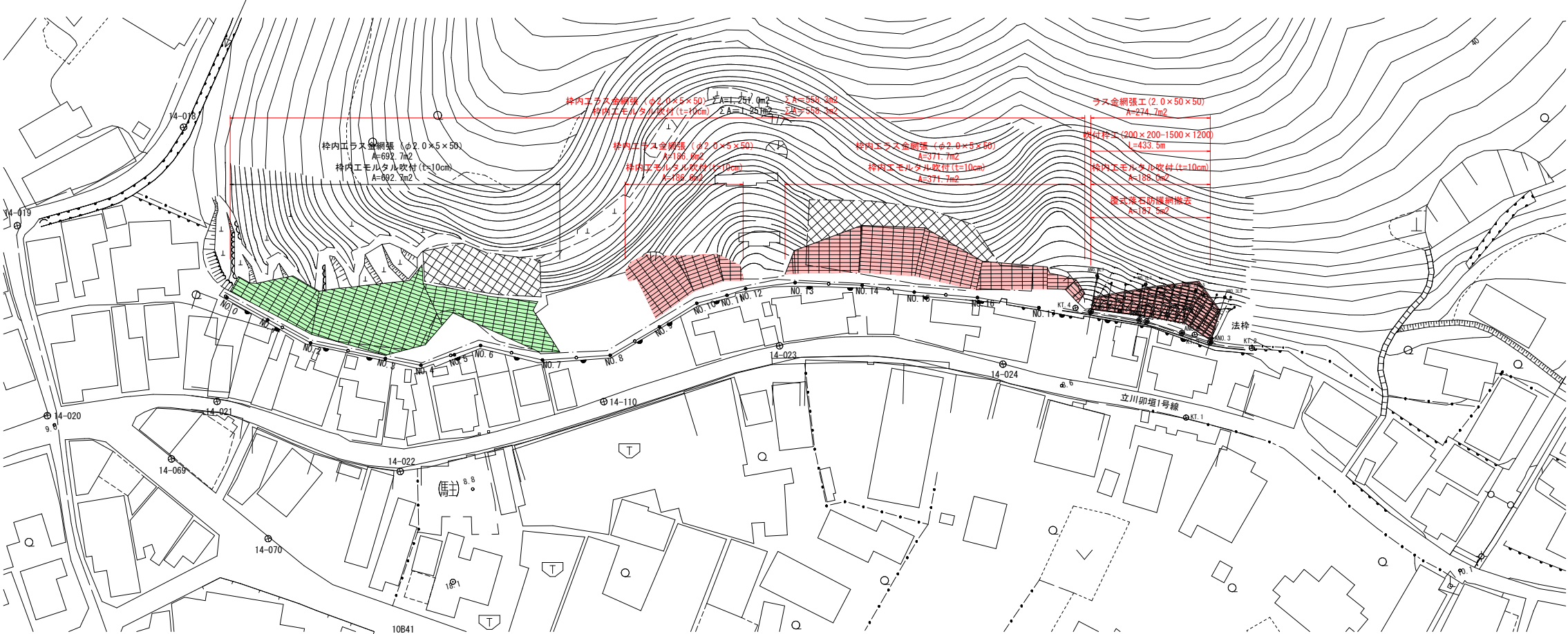


契約図面

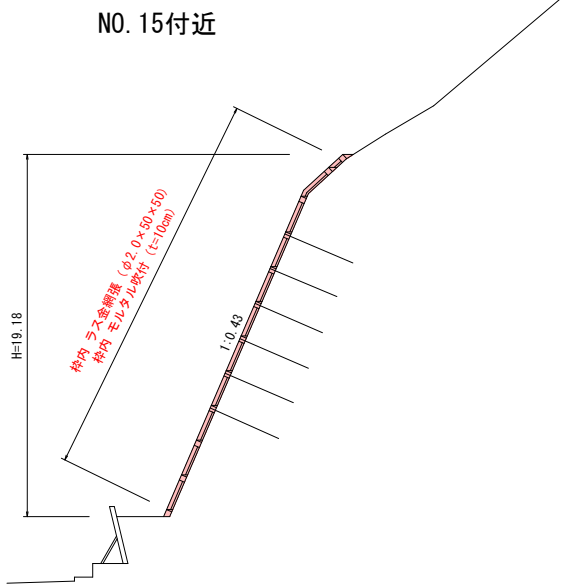
平面図

S=1:500



標準横断面図

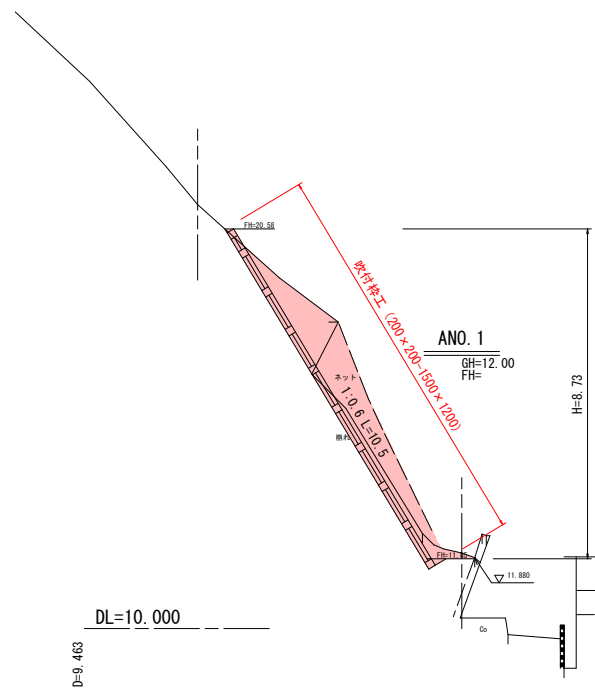
S=1:200



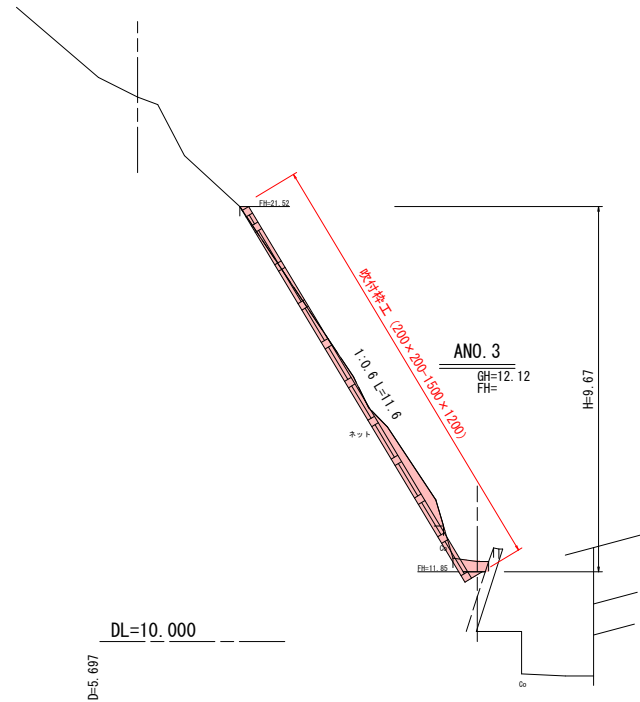
R8現年 公 起 工

年 度	令和 8 年度		
名 称	計画平面図・標準横断面図		
施 工 地	鳥取市立川町四丁目		
工 事 名	立川地区老朽化対策工事（2工区）		
事 業 所	鳥取県土整備事務所		
図面番号	1/5	縮 尺	図 示

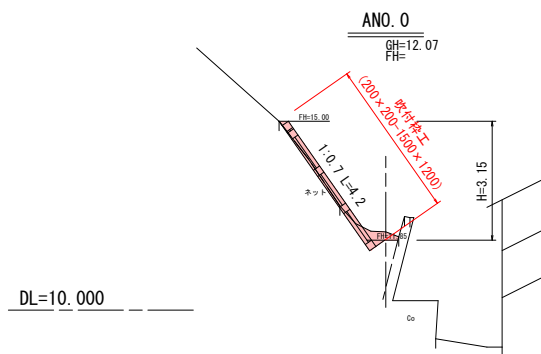
※平面図及び標準横断面図は治山施設台帳を写して作成した参考図である



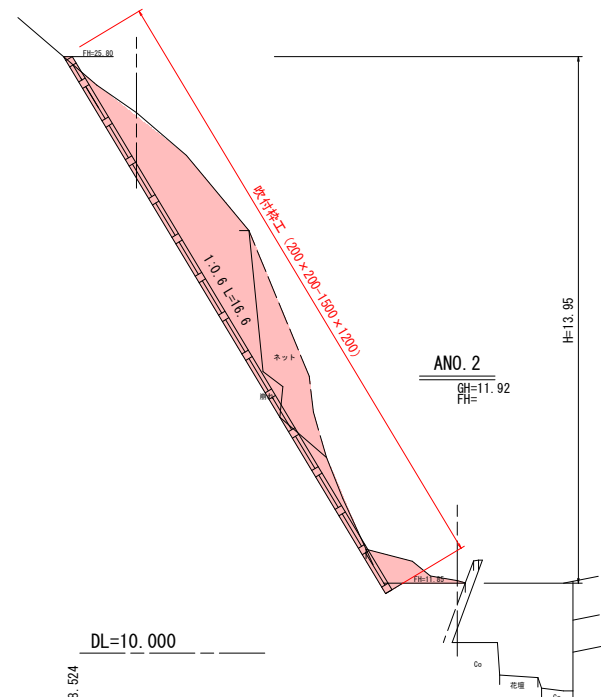
名 称	単位	数 量
人力掘削	m2	4.8



名 称	単位	数 量
人力掘削	m2	2.8



名 称	単位	数 量
人力掘削	m2	0.5

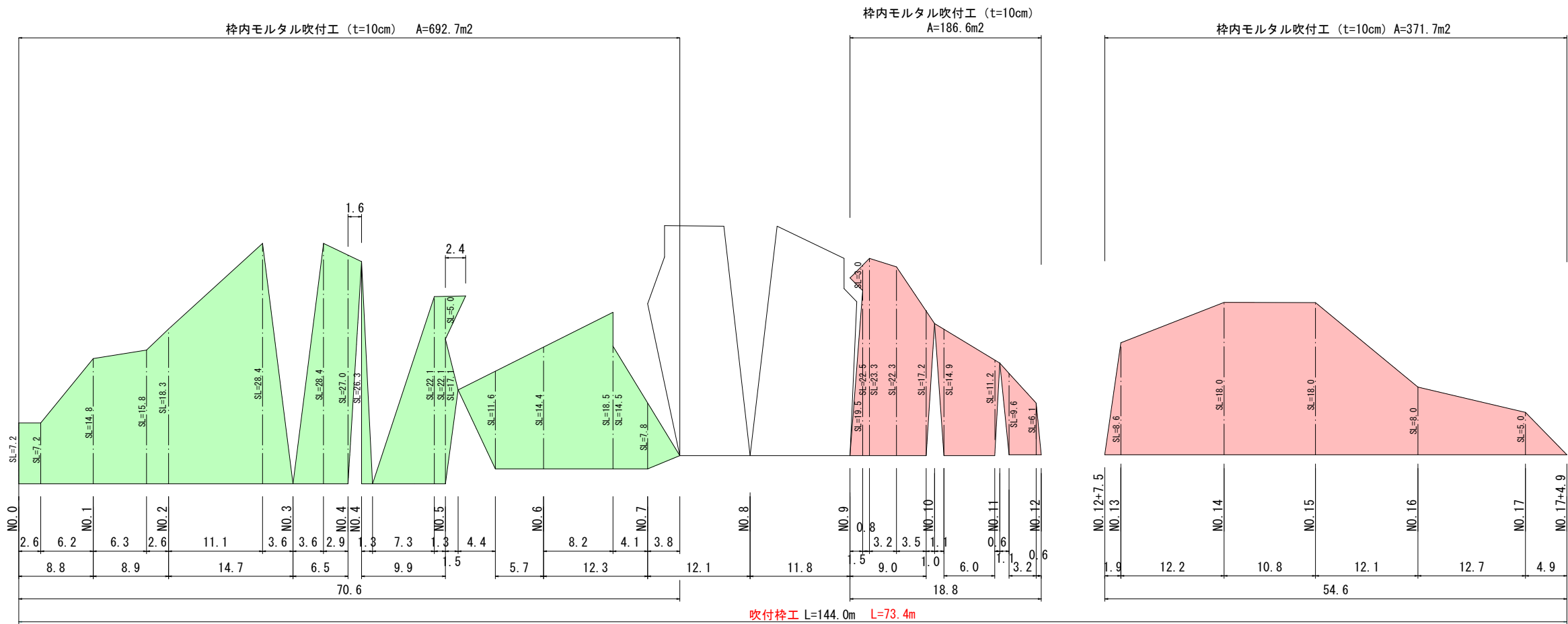


名 称	単位	数 量
人力掘削	m2	13.4

R8現年(公)起工

年 度	令和8年度		
名 称	横断面図		
施 工 地	鳥取市立川町四丁目		
工 事 名	立川地区老朽化対策工事(2工区)		
事 業 所	鳥取県土整備事務所		
図面番号	2/5	縮 尺	1:100

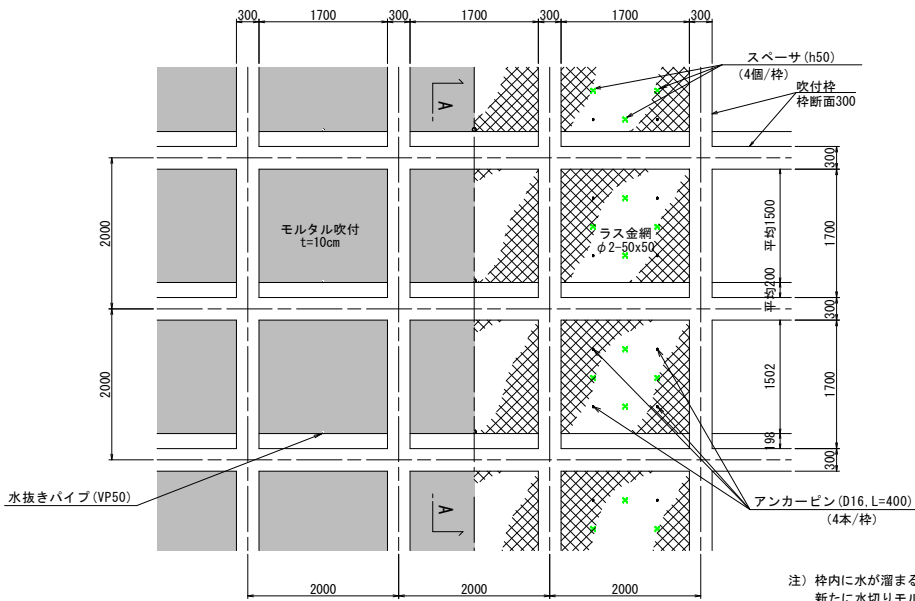
吹付砕工展開図 S=1:300



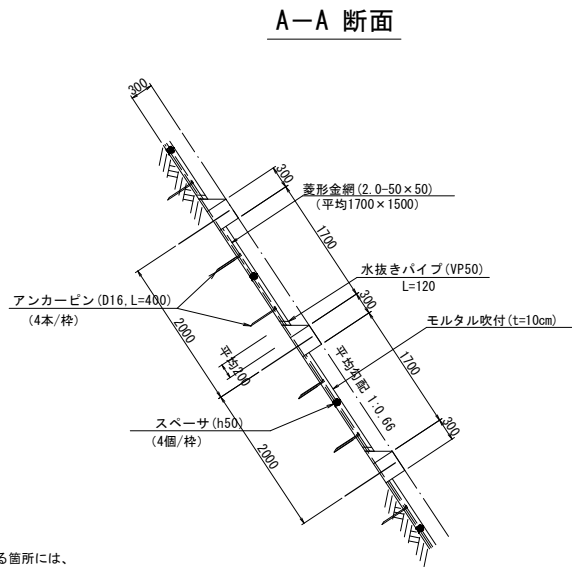
※この展開図は治山施設台帳をもとに作成した参考図である

砕内モルタル吹付工標準施工図
砕断面300×300(2,000×2,000)

標準展開図 S=1/50

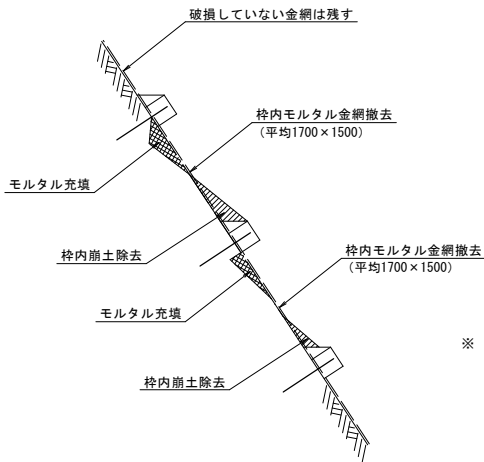


標準横断面図 S=1/50



中詰工前処理施工図

S=1/30

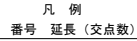


※ 注1) 砕内で破損している金網及びモルタルは除去すること
2) 砕内の金網で破損していないものは、残すものとする
3) 砕内の堆積している崩土は除去すること

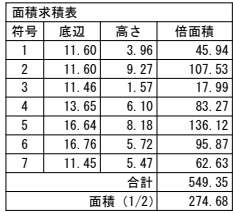
R8現年(公)起工

年 度	令和8年度		
名 称	展開図 構造図		
施 工 地	鳥取市立川町四丁目		
工 事 名	立川地区老朽化対策工事(2工区)		
事 業 所	鳥取県土整備事務所		
図面番号	3/5	縮 尺	図 示

200 × 200 (1500 × 1200)



吹付枠工面積求積図 S=1:100



覆式落石防護網撤去展開図 S=1:100

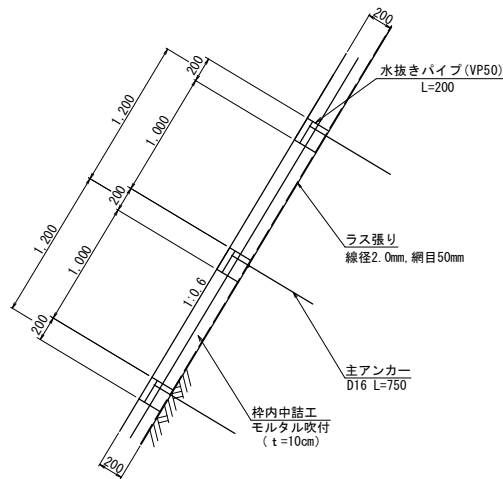
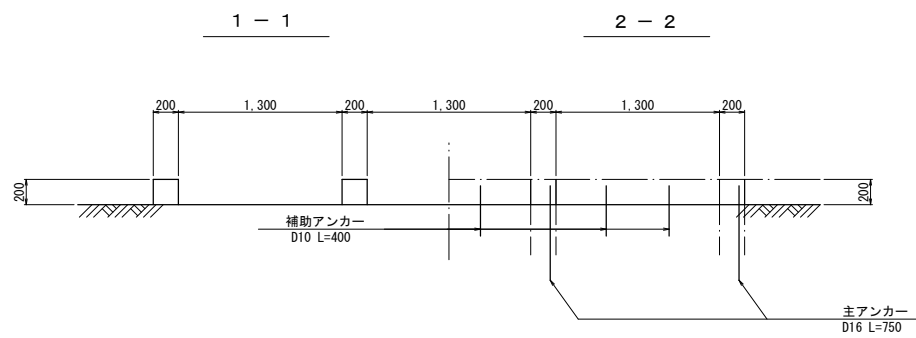


年 度	令和 8 年度		
名 称	展 開 図		
施 工 地	鳥取市立川町四丁目		
工 事 名	立川地区老朽化対策工事（2 工区）		
事 業 所	鳥取県土整備事務所		
図面番号	4/5	縮 尺	図 示

吹付砕工 構造図
200×200 (1500×1200)

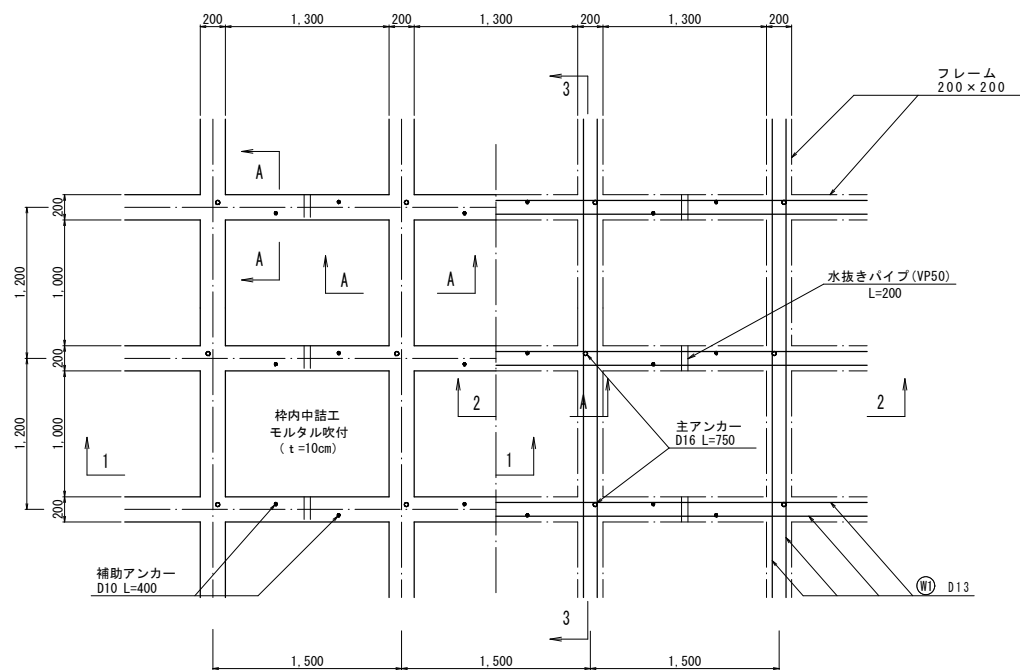
標準横断面図

S=1 : 30



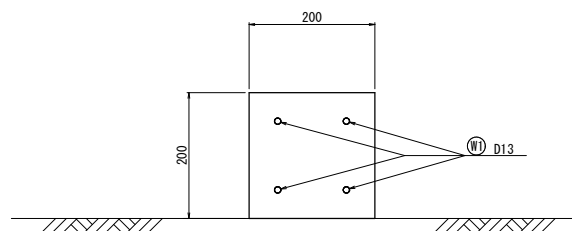
正面図

S=1 : 30



A-A断面

S=1 : 6



注記

*主アンカー、補助アンカーの施工に当たっては、上図の位置を標準とする。なお、現場条件によりやむを得ない場合はこの限りではないが、施工時の型枠の滑り止め効果を果たすよう施工すること。

*本図は、主アンカー、補助アンカーの長さは標準値を示しているため、掘削後の地山の状況により、長さを調整すること。

*各アンカーは、型枠の組立中、吹付け施工中、および吹付モルタル・コンクリートの硬化まで型枠が変形を生じないよう地山に十分固定すること。

*枠内：植生基材吹付工の厚さは、吹付施工前にのり面の風化状況を確認するとともに、土壌硬度の測定を行い適切な厚さとしてすること。

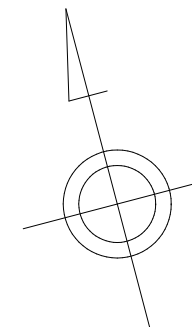
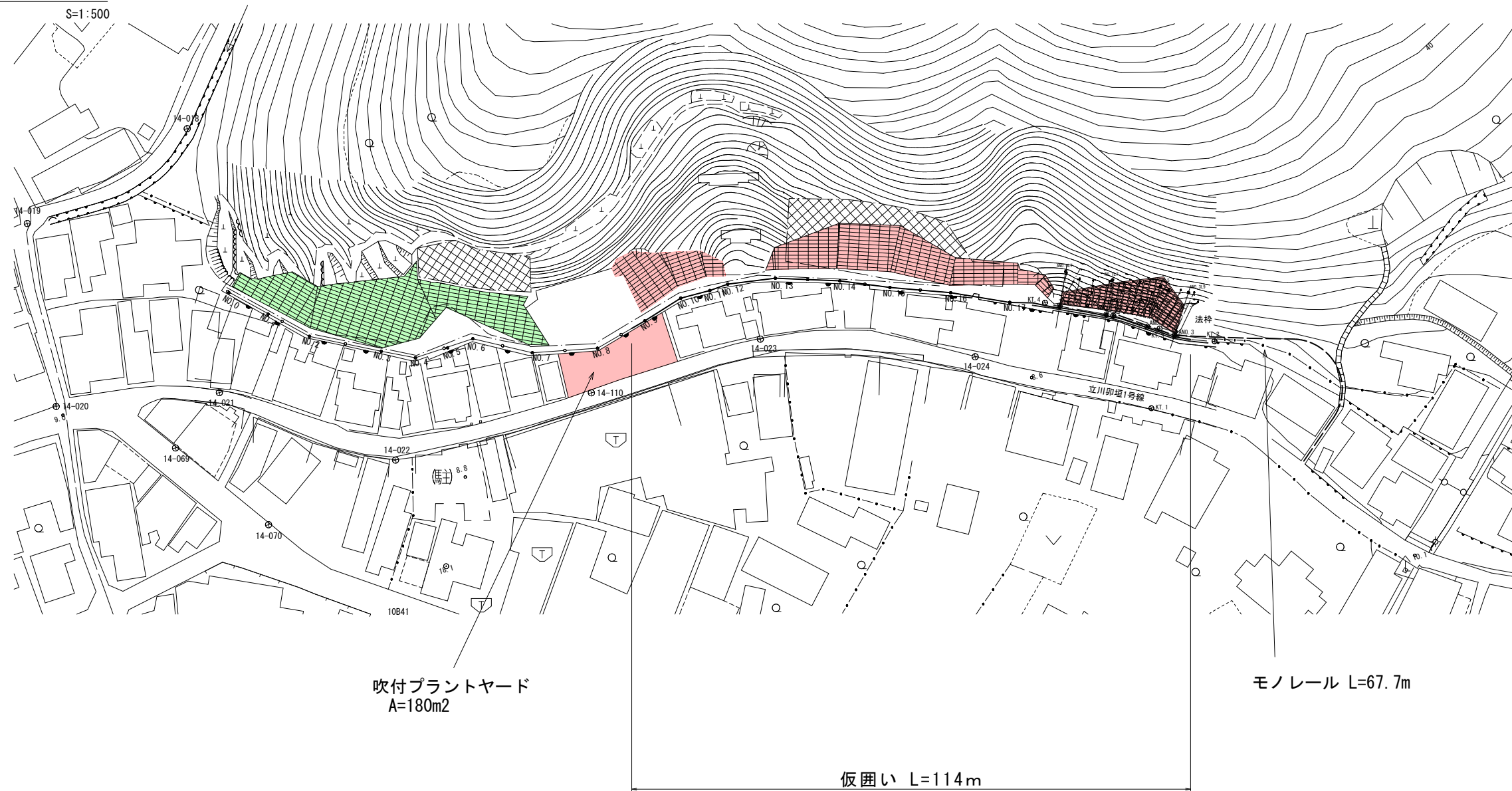
*湧水処理が必要な場合は、排水マットをラス金網の下に布設すること。

R8現年(公)起工 (参考図)

年 度	令和8年度		
名 称	構 造 図		
施 工 地	鳥取市立川町四丁目		
工 事 名	立川地区老朽化対策工事（2工区）		
事 業 所	鳥取県土整備事務所		
図面番号	5/5	縮 尺	図 示

仮設計画平面図

S=1 : 500



吹付プラントヤード
A=180m²

モノレール L=67.7m

仮囲い L=114m

R8現年(公共)起工 (参考図)

年 度	令和 8 年度	
名 称	仮設計画図(1)	
施 工 地	鳥取市立川町四丁目	
工 事 名	立川地区老朽化対策工事（2工区）	
事 業 所	鳥取県土整備事務所	
図面番号	縮 尺	図 示